

利用児童・生徒からの感想 (小学校5年生～中学生)

『生命科学者 中村桂子 こんな生き方がしたい』大橋由香子著 理論社(2004)

- ◇ この本を読み終えて、「生命科学者」のそん在を、初めて知りました。人間のDNAを調べて、社会に役立てる。こんな職業も素敵だなあと思いました。
- ◇ 昔は女の人が外交官になるのは無理だということを知りました。私はいぜん女の人たちはなんでもできなかったことが分かりました。私も外でよく遊んだり、本を読んだりするのが好きなので、桂子さんとにていると思います。この本をよんで、DNAや二重らせんなどを知りました。品種かいりょうは、いでんしを組みかえて作っているんだと思います。高校生ぐらいになったらDNAなどを調べてみたいです。

『動物研究者ダイアン・フォッシー こんな生き方がしたい』柴田都志子著 理論社(2004)

- ◇ ダイアンフォッシーはお母さんの仕事がいそがしくていつもひとりぼっちでとてもかわいそうでした。でも動物に対してとてもやさしくてすごいと思いました。

『レイチェル・カーソン』上岡克己・上遠恵子・原強編著、ミネルヴァ書房(2007)

- ◇ 私は最初「だれかな？聞いたことの無い名前」と思っていました。読んでいくうちに、すごい人だと気づきました。この本は「夢をあきらめずに進め」という意味があるのでしょうか。
- ◇ レイチェルカーソンは、理科と国語が得意で科学者は女のひとでなる人は少なく作家になろうかなやんでいたけど、科学者になって自分がやりたいことをみつけてやっていますすごいと思いました。

『マリー・キュリー 科学の流れを変えた女性』赤尾秀子訳 BL出版(2008)

- ◇ マリー・キュリーは、アルバート・アインシュタインと親しかったことが分かってよかったです。

『キュリー夫人の理科教室』吉祥瑞枝監修 渡辺正・岡田勲訳 丸善株式会社(2004)

- ◇ この本を読んで、真空とはどんなじょうたいか、圧力とは何かなどがわかりました。

『ちのはなし（かがくのとも傑作集—わくわくにんげん）』

堀内 誠一（著，イラスト） 福音館書店；改訂版（1978）

◇ いままで知らなかったことがいっぱい分かってよかったです。せっけっきゅうやはっけっきゅう、けっしょうばんという順で小さくなっていることが分かりました。

◇ うすい本だったので、短いのかなと思ったら、うすくても「ち」について教えてくれたのですごいと思いました。人間はこうして血が出ることや、呼吸で何を取りいれ何をだしているかや、血の量など少し難しいことが簡単に分かったのです。この本を読んで分かったことをこれからの理科の授業でもいかしたいです。これからも、ワークルームの本を積極的に借りて、読んで勉強したいです。

『ぼく、だんごむし（かがくのとも傑作集）』 得田 之久（著） たかはし きよし（イラスト） 福音館書店（2005）

◇ この本を読んで、今まで知らなかったことがたくさん分かりました。かれた葉や死んだ虫を食べるということは前から知っていたけど、ペットフードやしんぶんし、ダンボールなどを食べることは知りませんでした。とくにびっくりしたのは、コンクリートや石のかけらを食べるということです。私たち人間が食べれないかたいものまでたべれるのがすごいなあと思いました。だんごむしがまるくなるのは、「てき」から守るためだということも分かりました。短い話だったけど、たくさんのお話を知れたし、おもしろかったです。

『なぜ？ どうして？ 科学のお話 6巻セット』 学研マーケティング（2011）

◇ 人間の寿命がなぜあるのかなど分かりやすくいろいろ分かってよかったです。世界最強の生き物はクマムシと名前を聞いたことがないからびっくりしました。花粉しょうのことも分かってよかったです。

◇ 血は「血かん」というほそいくだをとおり、えいようやさんそをはこんでいてひふのすぐ下にはその血かんがたくさんあることで血が出て、あとはかさぶたになるというしくみがすごかったです。

◇ 二年生の本だったけど、五年生でもわからない不思議な話がいっぱいありました。でもこの本を読んだらそういう事がなくなりました。改めて、不思議がわかってよかったです。

◇ 白いカイウサギの目は赤いことが分かってよかったです。ウシには胃ぶくろがあったなんて知りませんでした。この本はとてもおもしろかったです。

『女子中学生の小さな大発見—Special edition』 清 邦彦（著） メタモル出版（2010）

◇ 私がこの本を読んでみて中学生がいろんな発見をしていて、私もやってみたくて思ったし、数を数えるのがあって、よく数をかぞえたなあと思いました。私もやってみたくて思いました。

『10才までに知りたい! なぜ?どうして? 科学のふしぎ (きっずジャポニカセレクション)』

池内 了 (著, 監修) 小学館 (2007)

- ◇ うちゅうやれきしなどのいろいろなことがわかりました。科学のふしぎがとてもよくわかったのでまたやってください。
- ◇ 火星は住めるの?などいろいろなぎもんの答えが書いていておもしろかったです。この本を読んで知らなかったことなどを知れたのでよかったです。それに対しての理由やすごいテクニックや技術のすごさがあるから、またよんでみたいと思った。

『12才の脳がみるみる吸い込む どんどん知りたい科学 40 (きっずジャポニカ・セレクション)』

池内 了 (監修) 小学館 (2007)

- ◇ この本には、宇宙のことについて、いろいろと書いてあります。12才なので、少しむずかしいところもありましたが、でも自分は宇宙のことが大好きなので、とても興味深かったです。

『星座を見つけよう (科学の本)』 H・A・レイ、草下 英明 福音館書店 (1969)

- ◇ 自分の住んでいる町の星空も見てみたいと思った。
- ◇ いままで知らなかった星座や、おもしろい名前の星座があたりしてとってもおもしろかったです。わたしも、天体かんそくをしてみたいです。
- ◇ 自分の星座の形や、名前などをくわしく知れたのでよかったです。また聞いたことのない星座もあったし、変な形の星座もあっておもしろかったです。今まで知っていた星座でも初めて知ることもありました。たくさんを知りました!
- ◇ 私は、自分の星座はどんな星座なんだろうなと思って読みました。「しし座」は1等星が1こ、2等星が2こ、3等星が3こ、4等星が9こありました。4年のときに、夏の大三角形でならった1等星とかがしし座にあるんだなあと思いました。私がおはじめて知ったのが、しし座のいちばん明るい星のことを、「レグルス」ということです。いろいろな星座の名前を見ていって、気付いたことがあります。それは、星座の名前には「生き物」の名前が多く使われていました。この本をよんだら、たくさん星座の中でいままで分からなかったことがたくさんあることに気付きました。

『ふゆめ がっしょうだん』 (かがくのとも傑作集)

長 新太 (著), 富成 忠夫 (写真), 茂木 透 (写真) 福音館書店 (1990)

- ◇ 冬になるといろんな木が芽を出していることを知り、ぼくは家の近くの木の芽も探してみたいです。木の芽はいろんな芽があって顔の形になっているものが多いとわかりました。ぼくはこの本で一番とげのある芽が顔に似ていると思いました。
- ◇ 木にはいろいろなめがあって、いろいろな形があることがわかりました。これから、時間があるときは、木のめを観察してみようと思いました。

『科学キャラクター図鑑 天文学—きらめく世界』

ダン・グリーン (著), サイモン・バシャー (イラスト), 原田佐和子 (翻訳) 玉川大学出版部: 1 版 (2009)

- ◇ 自分が知っている星のことも分かったし、新しい星のことも分かって良かったです。
- ◇ 木星、土星、ほかにもいろいろと書いていてすごい分かりやすいと思いました。それに知らないことがあって勉強になりました。
- ◇ 恐竜をほろぼしたいんせきは地球をまっくらにしたと書いてあってびっくりしました。うちゅうのことや、太陽、月などうちゅうのことにかんしては、いろいろのっていたので、この本はおもしろいと思いました。

『物理学 —ぶつぶつ物質!— (科学キャラクター図鑑)』

ダン・グリーン (著), サイモン・バシャー (イラスト), 藤田千枝 (翻訳) 玉川大学出版部: 1 版 (2010)

- ◇ 物質を知ったら頭の中でいろんな物質を組み合わせてみたりして楽しかったです。
- ◇ ぼくは、物理学の本を読んでみて、地震のことで地球をクッキーみたいに割って、土石流、津波などを起こすと書いてあっておどろきました。ぼくは、地震が起きたら、さわいであわててたから、これから生活で地震が起きたら、さわがず、あわてないようにひんできるよに意識していきたいです。

『岩石と鉱物 —読む宝石!— (科学キャラクター図鑑)』

ダン・グリーン (著), サイモン・バシャー (イラスト), 坂口美佳子 (翻訳) 玉川大学出版部: 1 版 (2010)

- ◇ 誕生石とか聞いたことがあるけど、いろいろなことが知れて楽しかった。
- ◇ 金にそっくりな黄鉄こうは、金よりかたいなんて知りませんでした。毒を持っている石や、昔アイシャドウにしていた石などいろんな石があるんだなぁと思いました。また読みたいです。
- ◇ この本を読んでわたしは一番「蛍石」に興味をもちました。「蛍石」はみためはすごく美しいのにやわらかいから宝石の仲間に入れないのはかわいそうだなと思いました。この本の一つ一つの石にいろんな特ちょうがあっておもしろかったです。
- ◇ がんせきとこうぶつのしゅるいや色などがよくわかってよかったです。
- ◇ いろいろな鉱石など、おもしろいイラストで分かりやすく説明していたので読みやすかったです。鉱石のとくちょうや性質を知れてよかったです。

『化学—化けるの大好き!— (科学キャラクター図鑑)』

ダン・グリーン (著), サイモン・バシャー (イラスト), 藤田千枝 (翻訳) 玉川大学出版部 (2011)

- ◇ 理科で習った言葉で気体という言葉が不思議だなぁと思いました。表紙の絵も読む人をひきつけるし、中身も勉強に役立つ本でいろいろな種類を読みたいです。
- ◇ 原子は針孔より小さいけど、宇宙と生命を支えていてすごいと思いました。見たり、さわったり、すったり、はいたりできるのは、みんな原子ということが分かりました。

『もしも原子がみえたなら—いたずらはかせのかがくの本 (いたずらはかせのかがくの本 新版)』

板倉 聖宣 (著) , さかた しげゆき (イラスト) 仮説社: 新版 (2008)

- ◇ 原子というお話をよむまえにはよくわからなくて原子ってなんだろうと思いました。読んでみて原子というむずかしい言葉のものは、土や石やそらしゅうにあることがわかりました。でもよんでみてもよくわかりませんでした。

『一目でわかる大きさをくらべ絵事典—原子から生物・宇宙まで [大型本]』

半田 利弘 (監修) PHP 研究所 (2010)

- ◇ 人類から動物から宇宙まで大きさが少し見ただけですぐわかっていい本だと思いました。
- ◇ 大きさをくらべの本を読んで太陽系の惑星についてきょうみをもちました。とくに海王星という星に興味をもちました。海王星になぜきょうみをもったかということ、一年間が6万182日もあるからです。もし自分が海王星にすんでたら、たんじょう日やクリスマスが6万年に1回しかこないからです。それに、季節(春、夏、秋、冬)が地球よりも長くなるので、たいへんだと思いました。あと一つおどろいたわくせいがあります。それは金星です。一日が5932時間あるけど一年が225日しかないからびっくりしました。

『小学生科学ぎもんランキング』 ぎもんランキング編集委員会 (編集) 学習研究社 (2001)

- ◇ 今まで知らなかったことが楽しみながらしれて良かった。
- ◇ この本を読んで、自分の経験と重ねてみたらぼくが疑問に思っていることがありました。それは、なぜ車にながく乗っているとようのかということです。ぼくはガソリンのにおいが体の中に入ってよってきもちが悪くなるのだと思っていました。だけど、体の中には動くときにバランスをとるところがあって、車といっしょにそこがゆれてようとかいてあったからすごいと思いました。

『いのちのつながり (かがくのほん)』 中村 運 (著) 佐藤 直行 (イラスト) 福音館書店 (1991)

- ◇ ずっとずっと大昔、ちいさなちいさなさいぼうが海の中にできたのが、地球でいちばん最初の生き物だったそうです。動物のいでん子が変化することで、人間が生まれてきたのが不思議でした。
- ◇ 私が印象に残ったところは、「生き物はみんないでんしでつながっている。きょうだいどうし」というところ。理由は「ヘビ」「トンボ」「カブト」などたくさんな生き物がいでんしでつながっていて、色も形もちがうのに、きょうだいと書いていたのでびっくりしました。そしてもうひとつ。「にんげんはどうぶつのさいぼうのなかのいでんしが変化してできた」というところです。「サル」「キリン」「イノシシ」などたくさんいるけど、今の動物のさいぼうが人間にへんかしたなんてとてもびっくりしました。今の動物にかんしゃです。私はこの本をよんで動物や生き物を大切にしていきたいと思いました。なぜなら動物が人間を作ってくれたからです。いろいろしれてよかったです。

『ダーウィンのミミズの研究（たくさんのふしぎ傑作集）』新妻 昭夫（著），杉田 比呂美（イラスト）福音館書店（2000）

◇いろいろな発想で実験をしたり、あきらめず研究を続けているところがすごいと思った。

◇わたしはじめのページに「山はむかしから山、海はむかしから海」というふうに思っていました。でも実際はそこに書いてあるように「地球の表面の形は長い時間をかけて変化する」んだらうと思いました。このミミズの研究をしたダーウィンさんは、40年以上もかけてミミズの研究をしたんだなあと思いました。このミミズはロンドンのミミズだからこうなのかもしれないなあとかいじでたけど、このミミズが日本のミミズならばどうなんだらうなあと疑問がでました。日本のミミズもロンドンのミミズと同じことをするならばこのミミズはどこミミズも同じなんだということがわかるなあと思いました。

『ふしぎな数のおはなし』芳沢光雄著 数件出版（2002）

◇私の読んだ本の中で、一番印象に残ったところは「午前0時のひみつ」という所です。その話はこういうものです。『一日を考えると、午前0時とは今日の終わりの時間なのでしょうか、明日の始まりの時間なのでしょうか。もし両方であっても、それは2つの日にぞくする時間なのでありえませんが、まず前の方だと明日の始まりの時間は、0時1秒、0時0.1秒0時0.01秒というようにキリがありません。後ろの方も同じことです。』これを読むと、がぜん時間に興味を持ちます。そしていつか解き明かしてみたい！とわくわくします。わたしも小さいとき、3時が2つあることを不思議に思っていました。これをいかして大人になったら子どもの時間についてのしつもんにも答えられる人になりたいです。

『数の悪魔—算数・数学が楽しくなる12夜—』丘沢静也著 晶文社（2000）

◇私がこの本で一番印象に残ったのは、パスカルの三角形というところでした。たとえば、 $1 + 3 + 6 + 10 + 15 + 21 + 28 + 36 + 45 + 55 + 66 + 78$ も、パスカルの三角形ですぐできました。いちばんさいしょはややこしいと思ったのですが、たった10秒でできました。私は算数が苦手だったので、このやりかたをしてよかったです。この本に出ている数の悪魔とロバートをみて、算数・数学にきょうみをもてました。だから、これから勉強することに、この本ののっていたやり方を活かして勉強をがんばりたいです。

◇数学の知識が分かりやすく書いてある。自分は、数学は好きな方だが、この本を読んでいくうちに もっと好きになっていった。読んでいくならっているものもでてきて復習にもなったし、もちろん習っていないものもあったが、わかりやすく書いてあるので予習にもなった。習ったことがあるものは、次のページを開くときに「こうすればいいんじゃないか」などという観点で読むこともでき、とてもおもしろかった。

『恐竜と失われた動物たち』藤子・F・不二雄著 小学館（2011年7月）

◇ぼくの印象に残ったことは、恐竜、ワニ、トカゲの足のはえかたがちがうことです。「恐竜の足はこうはんからほぼ真下についている。ワニはトカゲより下向きに足がついている。トカゲは足がこつぱんのまよこにつきだすようについています。」とこの本に書いていて、恐竜、ワニ、トカゲの足のはえかたがたぶん人ともちがうといえると思います。ぼくがこの本を読んで思ったことは、人と動物などの足のはえかたはやっぱりちがうのかなあおなじなのかなあと思いました。

『はっこう博士大かつやく（やさしい科学）』末松 茂孝（著） さ・え・ら書房（1988）

☆いろいろな実験方法や「〇〇つくろう」などのイラストがわかりやすかったので、私もやってみたいと思いました。それにいろいろなはっこう食品があって、ビックリしたし、おもしろいなぁと思いました。こうぼさんがたくさんあって、なんでこんなにたくさんあるんだろうと不思議に思いました。あと、カビのなかまがひじょうに多く、現在約5万しゅるいほどが知られていることはじめて知りました。この本を見ていろいろなはっこう食品をさがしてみるのもおもしろそうだと思いました。

『煮干しの解剖教室（オリジナル入門シリーズ）』小林 真理子（著），こばやし ちひろ（イラスト） 仮説社（2010）

☆にぼしに脳や胃があることがこの本をよんでわかった。にぼしには人間と同じように脳や胃がないとおもっていた。ぼくもにぼしをわったことはあるけど頭の茶色いところに脳があったのでびっくりしました。にぼしもメダカににているひれがありました。にぼしのひれは5種類ということもわかりました。にぼしは海で中型魚にも大型魚にも食べられるのにがんばって生きていてすごいと思いました。

『エネルギーってなんだろう（福音館の科学シリーズ）』

キンバリー・ブルベーカー・ブラッドリー（著），ポール・マイゼル（イラスト），やまじけんじ（翻訳） 福音館書店（2010）

☆この本を読んでみて、今まではエネルギーは何なんだろうと思っていたけど、エネルギーは生きている物やふつうの物でもなくてはならない物なんだなと思いました。あと、植物や野菜などは、太陽からエネルギーをもらっていて、ぜったいエネルギーはなくなるらないと書いてあったけど、じゃあ太陽は、植物や野菜いろいろな物にエネルギーをあげているのになくならないのかなと思いました。

『ヤモリの指から不思議なテープ』

松田 素子（著），江口 絵理（著），石田 秀輝（監修），西澤 真樹子（イラスト） アリス館（2011）

☆ヤモリの指にたくさんの毛が生えていて、死んでもその効果があることにおどろきました。あと、そのヤモリの指をいかして、かべにのぼれるて手ぶくろができれば、わざわざかいだんを上ってマンションの部屋などに行かなくてものぼって近道して行けるので便利だと思いました。でもそれを悪用してどろぼうやのそきがふえたら困るので、やっぱりない方が良いのかなぁと思いました。あとフナクイムシは貝で、木を食べ物と住みかにしているとは！と、とてもおどろきました。あと、石灰を体から出せるのもすごいと思いました。